



「まちに開かれた芸術文化拠点」を目指す京橋彩区が開催する芸術文化講座。2021年4月(第16回)は「美術館とは何か、アーティゾン美術館を考える」です。アーティゾン美術館副館長の笠原さんをお招きし、美術館についてあらためてお話して頂きます。

< 2021年4月(第16回) >

美術館とは何か アーティゾン美術館を考える

2021年1月18日でアーティゾン美術館は開館1周年を迎えました。新しい美術館ですが、ブリチストン美術館という日本の近代美術館としての先駆けのDNAと伝統も内包しています。

2020年はまたコロナによって様々な状況が一変した年でした。自粛が促され、海外への渡航がむずかしくなる中で、美術館のあり方も問われています。古くて新しい美術館、アーティゾン美術館の試みをご紹介しますながら、「美術館とは何か」をあらためて考えます。

日 時： 2021年4月21日(水) 18:30～20:00

会 場： 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
「オンライン講座」としてYouTubeにて配信します。

参 加 料： 無料

申込方法： 京橋彩区のお申し込みフォーム(<https://bit.ly/3q6BIVZ>)、
右上の**リンクボタン**(またはQRコード)よりお申し込みください。

▶ お申し込みフォーム
(京橋彩区)



※今後の状況により、延期・中止をさせて頂く場合もございますので、あらかじめご承知置きください。

< 講 師 >



公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館 副館長 笠原 美智子 氏

1957年長野県生まれ。東京都写真美術館の立ち上げから学芸員として勤務。東京都現代美術館を経て、2007年より東京都写真美術館学芸課長。2018年よりアーティゾン美術館副館長。
著書に『ジェンダー写真論』、『ヌードのポリティクス』ほか。